



大倉秀夫議員  
(白新会)

**問** 南小通学路の一部変更と市道舗装を

パークシティ西側の手押し信号付近から沖山踏切に向かう道路は道幅が狭く、手押し信号を横断する交差点の交通量も非常に多く危険性もある。大山商店脇から南小北側校内への直線道路に変更できないか。またこの道路は4m以上の市道なので舗装する予定はないか。

**答** 通学路の変更・道路舗装の予定はない

現行通学路は歩車道分離などの安全対策が講じられ、学校応援団・交通指導員の協力もあり、通学路を変更する段階にないと思う。道路整備は交通量や利便性を勘案し実施している。当該道路は交通量も少ないことから、現段階で舗装などの予定はない状況である。

**問** 千駄野医院前の水路へ蓋かけ設置を

千駄野医院前の道路は交通量が増え歩行者への危険も増している。近い将来に高速道路に高架橋が完成すると自動車の交通量もさらに増え、歩行者の危険性も考えられるので、この道路側の水路の上に蓋かけなどをして歩道として整備する予定はないか。

**答** 水路への蓋かけを検討していく

千駄野医院前の水路に沿った道路は、交通量が増加しており、南小学校と南中学校の通学路でもあることから、水路の蓋かけについては、今後、浸水対策整備と調整を図りながら、設置方法や施工時期などについて検討していく。



千駄野医院前水路



江原浩之議員  
(隼人)

**問** 新たな産業団地建設は

白岡西部産業団地を造成したメリットは。県が進める産業基盤整備に、市としても協力し、新たな産業団地建設に取り組む考えは。また、皿沼地区の開発行為は、県主導なのか、民間主導なのか、その方針は。

**答** 地権者の皆様の意向を調査していく

白岡西部産業団地の造成により、税収の確保と地元雇用の促進などが図られた。市では、皿沼地区を総合振興計画基本構想に工業系産業誘導区域として位置付け、新たな産業団地の建設に向けて、埼玉県県の意向も確認しながら検討していく。

**問** オータムフェス開催を

昨年、農産物品評会と同時に農業祭が開催された。旧庁舎では、図書館祭りとコラボでシルバー祭りが開催された。それぞれの来客者数は。次に、はびすしらおか内の組織とその隣接する組織が連携し、11月を目途に各団体同時に、オータムフェスティバルの開催を。

**答** 各実施団体などへ協議を働きかける

各イベントでばらつきはあるが、おおむね1,000人から3,000人が来場している。目的や内容が共催にふさわしく、同時開催が可能と思われるものについては、各実施団体などで協議を行い、一つにまとめられるよう働きかけていく。



農業祭